

2020年4月28日

須磨学園 保護者様

須磨学園高等学校・中学校
学園長 西 和彦

インターネット授業配信期間の延長について

本日兵庫県より、県立高等学校への5月末までの休校延長要請が発表されました。それを受けて本校では、5月31日(日)までインターネット授業配信期間を延長する旨を決定いたしました。

また本校は、長期的な視野で授業配信についての分析・検討を重ね、従来のインターネット授業配信 1.0 の改訂版として**インターネット授業配信 1.1**を実現させることとしました。「学校の学びを止めない」という基本姿勢を基軸に、生徒にとってさらに有益な授業配信を実現するため、様々な部署の連携を背景に新たな境地を切り開いていきたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

生徒の皆さんは引き続き、登校および不要不急の外出については絶対に控えていただきますよう保護者の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

記

インターネット授業配信期間を5月31日(日)まで延長する。

インターネット授業配信 1.1 を実現する。 ※別紙参照ください。

須磨学園のインターネット配信授業 1.1 方針

[理事長・学園長からの学校方針]

「学校の学びを止めない」という方針のもと、須磨学園は各学年のインターネット放送局を通して、日々インターネット授業の配信を続けてきた。学校として、「生徒たちの学びを止めることなく、感染症の拡大防止に貢献することができる形を追求する」、この使命を全うすべく歩みを続けてきた。現在の社会情勢を鑑みると、現状の授業配信の対応を今後も継続していく必要性を強く感じざるを得ない状況である。

そこで我々は、長期的な視野で分析・検討を重ね、従来のインターネット授業配信の改訂版として**インターネット授業配信 1.1**を実現させることとした。報道局とも相通ずる「止めるべきではない」という基本姿勢を基軸に、生徒にとってさらに有益な授業配信を実現するため、様々な部署の連携を背景に新たな境地を切り開く須磨学園の決意をここに表明する。以下にインターネット授業配信 1.1 のガイドラインを示す。

記

[インターネット授業配信 1.1 ガイドライン]

1. 引き続き授業配信ツールとして、主に YouTube、Stream(Office365)、Zoom、Teams・Forms(Office365)に、校内グループウェアである FC(First Class)を加えた 5 ツールを使用する。授業の配信には主に「Zoom」を使用し、生徒との双方向のやり取りを重視する。学年の状況に応じて、また使用場面に依りて、柔軟にその他のツールと組み合わせることによって、最適な配信と指導の精度を確保する。
2. 9つの学年(中学3学年—J1・J2・S1 / 高校一貫3学年—S2・V1・V2 / 高校入学3学年—K1・K2・K3)を各「インターネット放送局」(×9)とし、それぞれの授業配信についての方針(A4×1程度・発表済)をもとに、学年の状況に応じて最適な時程・分量・内容の配信を行う。
3. インターネット授業における生徒とのやり取りや独自の取り組みなど、配信の詳細については、各放送局(学年)が柔軟に設定・対応を行うものとする。各学年間、また教員間で配信の状況を共有し、情報交換を積極的に行うことを奨励し、それぞれの配信精度の向上につなげるよう促す。

4. インターネット授業配信については、暦通りに展開するものとし、日曜日については 配信を実施しない。
5. 日曜日以外の休日には、「オンライン自習室」をオープンする。希望者を対象に、Zoom などを用いて教員とつながり、定期的に自習時間を設定するなど、緊張感をもって自習に取り組むことができる環境を整備する。質問がある場合は、事前に告知される予定表にもとづき担当教員が対応する。さらに希望者には、朝夕の運動の機会を提供する。
6. 学年ごとの状況・必要性に応じて「オンライン特別講座」を開講し、各生徒の様々なニーズに対応する体制を確立する。
7. 「オンライン個人面談」を充実させ、オンライン上でも積極的なコミュニケーションをとることにより、生徒一人ひとりの 思い・習慣・Web 授業接続状況などを確認し、次なる助言につなげる。また「生徒相談室ダイヤル」を広く案内し、生徒の心の問題の緩和に努める。
8. 接続トラブルに関しては、学年教員間ならびに本校マルチメディア部との連携により、可能な限りの早期対応を目指す。
9. 休日においても検温など生徒の体調確認を徹底する。

以上